

2024年11月14日、北九州市のミクニワールドスタジアム北九州で、福岡県SDGs推進セミナー＆交流会を開催しました。

今回は、「SDGsで起こすイノベーション！」組織内へのSDGs浸透戦略と効果的な情報発信「マニ、株式会社ゼロベースの宮谷直樹様にワークショップと講義を行つていただきました。



●ファシリテーター 宮谷直樹様とセミナーの様子



●SDGsカードゲーム
(GetThePoint)で考え方や
その効果を体感する参加者
の皆さん

前半は、ワークショップ形式で、参加者全員が地元の大学生、高校生を含む3～4名のグループに分かれてSDGsカードゲームの体験を行いました。

●ワークショップ SDGsカードゲーム体験

●SDGsを達成するための 効果的な広報戦略

【広報がSDGs達成に重要な理由】

これらを実現するためには、「持続可能性」「社会貢献」「企業価値向上」といったキーワードが重要になると強調されました。

- ①企業の社会的責任を果たす
- ②ブランドイメージの向上
- ③新規顧客や投資家からの評価向上

ファシリテーターの宮谷様はじめにSDGsの広報がなぜ重要なのかについて、次の3つのポイントを挙げました。

企業の社会貢献活動を通じて従業員が誇りを感じ、やる気が向上する効果があります。

新規顧客や投資家からの評価向上

広報活動を通じて新たな顧客や投資家を惹きつけ、地元金融機関からの信頼も得ることができます。

【効果的な広報戦略のポイント】

後半は、カードゲーム体験会を通しての振り返りの後、事例紹介を交えながら、企業のSDGs活動をいかに効果的に伝え、社会や社内の共感を得るかに焦点を当てた内容で講義が行われました。

▲社外向け広報について▼

- 1 ターゲットの明確化
広報活動の第一歩は、誰に何を伝えるのか、ターゲットを明確にすることです。
- 2 ストーリーテリング（※1）の活用
SDGsに取り組む背景や課題を物語として伝えることで、共感を得やすくなります。また、社会のトレンドや関連性のある話題を取り入れることも効果的です。
- 3 デジタルツールの活用
デジタルツールは広報活動の重要な手段です。特に、LINEやYouTubeといった多くの人が利用するプラットフォームを効果的に使うことで、幅広い世代に情報を届けることが可能です。
- 4 一体感を生むコミュニケーション
企業の商品やサービスを通じて「地域や環境を良くする」という意識を共有することで、顧客や社会との一体感を醸成できます。
- 5 SDGsウォッシュ（※2）を避ける
根拠のない表現や誇張、曖昧な情報を避けることが重要です。実際に取り組みの裏付けを示し、具体的な成果を伝える必要があります。

※1：ストーリーテリング（storytelling）
伝えたい思いやコンセプトなどについて、それを想起させる印象的な体験談やエピソードなどの物語を作ったり引用したりするなどで、聞き手に強く印象付ける手法。

※2：SDGsウォッシュ（SDGs Wash）
SDGsへの取組を行つて見えて、その実態が伴っていないビジネスを揶揄する造語。

【参考になる資料と今後の展望】

今回のセミナーではSDGsの取り組みに関する情報発信を行う際、サステナビリティレポートや統合報告書の活用が推奨されました。また、参考資料として『サステナビリティ経営のジレンマ』（川井健史著）という書籍を挙げ、さらに「人的資源」や「生物多様性」などの新たなキーワードが今後の広報活動で重要なと述べました。



令和7年1月6日から第10期の申請開始!

<福岡県SDGs登録制度に登録してみませんか?>

「福岡県SDGs登録制度」は、SDGsに積極的に取り組む企業や団体を県が広く公表し、SDGsへの貢献を「見える化」することで、登録事業者の取り組みを支援する制度です（2024年10月末時点の登録数 1220事業者）。

登録すると、県ホームページでのSDGs達成に向けた取組の紹介、県のオリジナルロゴマークの使用、競争入札参加資格審査における加点、「ふくおか県政推進サポート資金」の活用、商工団体や金融機関による伴走支援などを受けることができます。



<セミナー概要>

日 時 2024年11月14日 14:00～17:00
会 場 ミクニワールドスタジアム北九州
テ マ SDGs経営で起こすイノベーション！
～組織内へのSDGs浸透戦略と効果的な情報発信～
会場：株式会社ゼロベース 代表取締役 宮谷直樹